

**「こたつでみかん」はもう古い！**  
**アキュアメイド「愛媛みかん」は「エキナカみかん」を提案**  
**～愛媛県産温州みかんを100%使用した果汁飲料を発売～**  
**「1房派」と「2～3房派」の割合は？**  
**「和歌山むき」実践者は何%？「みかん」に関する調査結果も発表**

株式会社JR東日本ウォータービジネス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鈴木浩之）は、エキナカを中心に展開している「acure<アキュア>」のオリジナル飲料ブランド「acure made<アキュアメイド>」から、果汁飲料「愛媛みかん」を1月9日（火）に発売いたします。

商品名	愛媛みかん
価格	160 円（税込）
容器・容量	280ml ペットボトル
販売箇所	エキナカを中心に展開しているアキュアの自販機 JR 東日本ウォータービジネス通信販売 ( <a href="http://www.acure-fun.net/online/">http://www.acure-fun.net/online/</a> ) 等
発売日	2018年1月9日（火） ※順次発売展開予定
商品特徴	・愛媛県産温州みかんを100%使用 ・甘味と酸味のバランスのとれた味わいと、さわやかな香り
URL	<a href="http://www.acure-fun.net/products/2018/mikan.html">http://www.acure-fun.net/products/2018/mikan.html</a>



「エキナカみかん」を提案する商品の発売にあたり、いまどきの「みかんの食べ方」に関する実態を明らかにしました。

**[調査概要]**

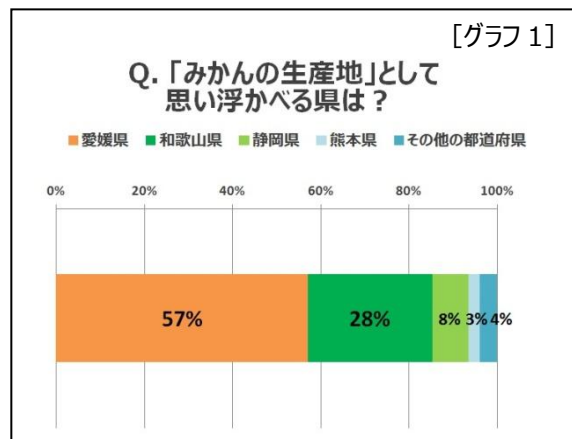
調査名：「みかんの食べ方」に関する調査  
 調査期間：2017年11月27日（月）～11月28日（火）  
 調査対象：「みかんを食べることがとても好き」かつ「冬によくみかんを食べる」と回答した20～50代男女500名  
 ※愛媛県出身者100名、非愛媛県出身者400名 性・年代別均等割付  
 調査方法：インターネット調査

**もはや「みかん」とセット！「みかんの生産地」として思い浮かべるのは「愛媛県」**

はじめに「みかん好き」たちに「みかんの生産地」として思い浮かべる県をききました（※愛媛県出身者100名を除く）。その結果、1位は「愛媛県」（57%）、2位は「和歌山県」（28%）、3位は「静岡県」（8%）となり、「愛媛県」と回答した人が約6割を占めるという結果に。[グラフ1]

「『愛媛』という言葉が『みかん』という言葉とセットになって頭に入っている」（44歳・女性）、「親戚が愛媛に住んでいて、遊びに行くとみかんが多く売っている」（36歳・男性）など、「愛媛」＝「みかん」というイメージが強く根づいていることがわかります。

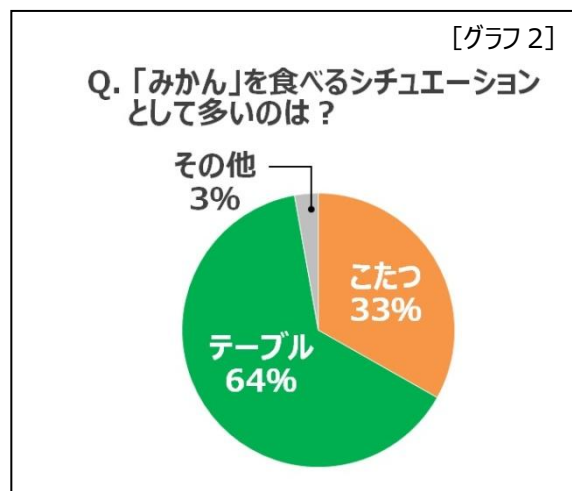
「みかん」といえば愛媛県！  
アキュアメイド「愛媛みかん」は「愛媛県産」の  
温州みかんを 100%使用しています。



## 今や、「こたつでみかん」より「テーブルでみかん」派が多数！

また、「みかん」を食べるシチュエーションといえば「こたつでみかん」が定着していますが、「こたつかテーブルか」をきいた質問では「こたつ」が33%、「テーブル」が64%、「その他」が3%という結果に。いまや6割以上が「テーブルみかん」派であることがわかります。[グラフ 2]

アキュアメイド「愛媛みかん」なら気軽に  
「エキナカみかん」をお楽しみいただけます。



## 「愛媛県」のみかんを 100%使用、いつでも楽しめる「エキナカみかん」

今回の調査では、「みかん」といえばやはり「愛媛県」のイメージが強く、「こたつでみかん」は少数派であることがわかりました。エキナカを中心に展開するアキュアの自販機で販売する「愛媛みかん」は、愛媛県産の温州みかんを 100%使用。「みかん好き」も納得の味わいです。

「こたつ」や「テーブル」がない時でも、「エキナカ」で手軽にみかんをお楽しみいただけます。今年「エキナカみかん」をお楽しみください。



### ■アキュアの自販機について

JR 東日本のエキナカを中心に設置している自動販売機です。メーカーの枠にとらわれず、お客さま視点でエキナカのニーズに合った売れ筋商品をラインアップした「ブランドミックス機」で約 8,000 台展開しています。



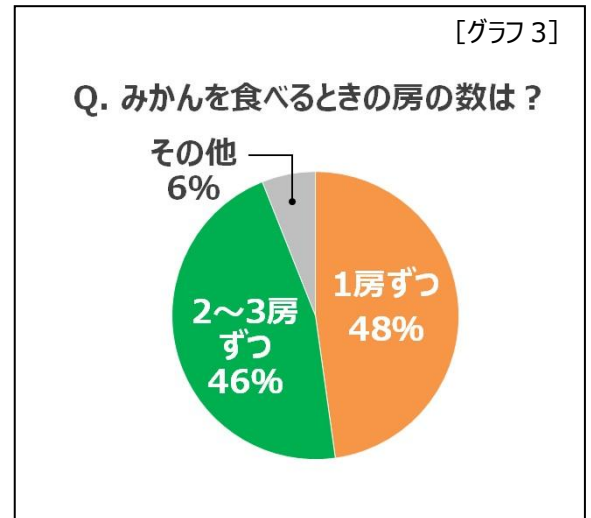
参考資料：「みかん」に関する調査結果を発表！



## 奥が深い「みかんの食べ方」、「1房派」と「2～3房派」の割合は拮抗！

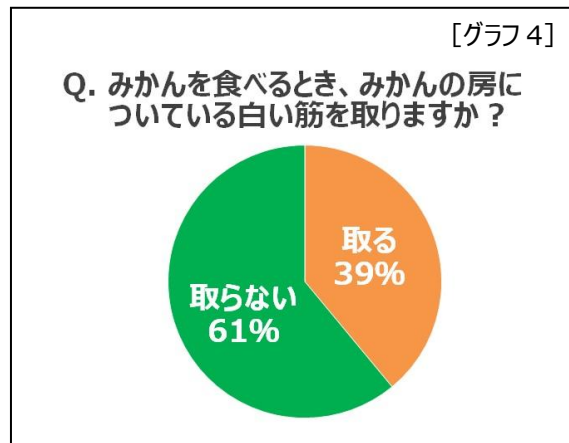
「みかんを食べるときの房の数」をきくと、「1房ずつ」（48%）と「2～3房ずつ」（46%）がほぼ同数という結果に。**「1房派」と「2～3房派」の“2派”が拮抗している**ことがわかります。[グラフ 3]

理由をきくと、「1房ずつの方が味わって食べられるから。少しずつ時間をかけてのんびり味わいながら、みかんは食べたい」（1房派・48歳・男性）、「2房ずつ食べるという発想が今までなかった」（1房派・25歳・女性）、「口の中にみかんのジューシーさが広がるから」（2～3房派・22歳・女性）、「口の大きさにちょうど良いから。1房ずつだと小さすぎて物足りない」（2～3房派・45歳・男性）など、**「のんびり1房派」、「ジューシーさ重視2～3房派」といった、それぞれのこだわり**がうかがえます。



アキュアメイド「愛媛みかん」なら飲料なので、1房派も2～3房派も満足いただけます。

また、みかんの房についている「白い筋」（アルベド）に関する質問では、「取ってから食べることが多い」人が約4割（39%）、「取らないで食べることが多い」人が6割以上（61%）となり、**「白い筋」も人によって好みの違うポイント**と言えます。[グラフ 4] 男女別でみると、男性は「取る派：取らない派＝32%：68%」、女性は「取る派：取らない派＝46%：54%」となり、男女でも「白い筋」に対する考え方が異なる結果となっています。

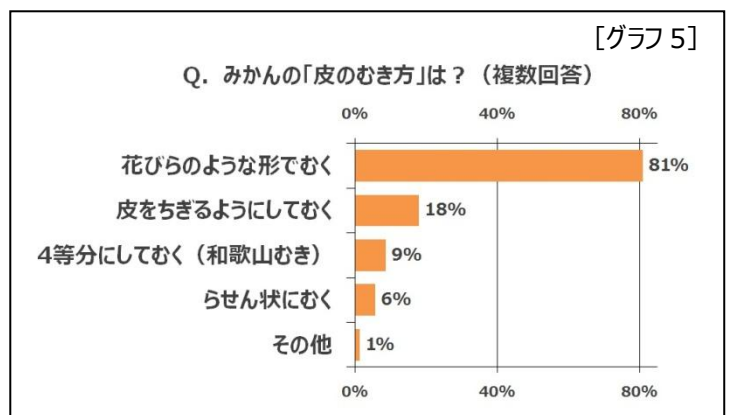


アキュアメイド「愛媛みかん」ならわざわざわざわざなく、味わいそのままお楽しみいただけます。

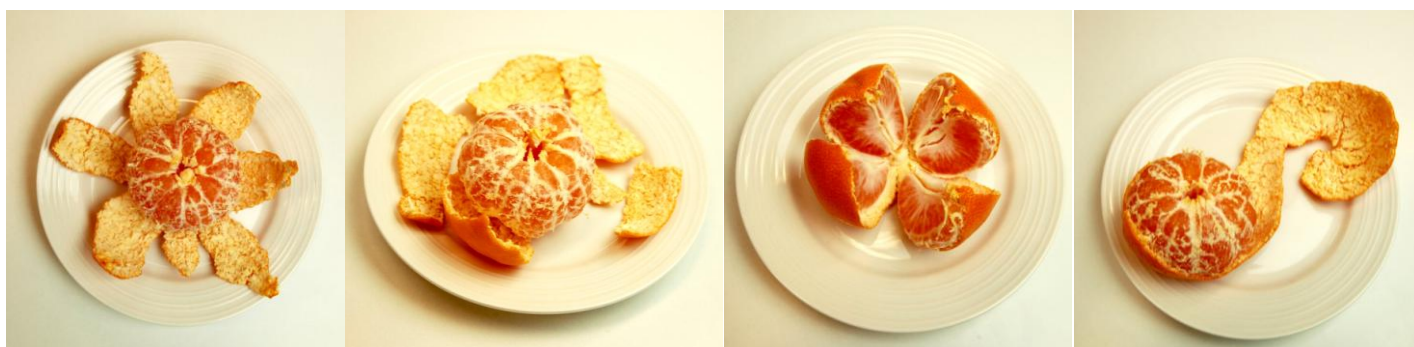


## 話題の「和歌山むき」、実践者は何%？「らせん状むき」に憧れるみかん好きも！

続いて「皮のむき方」をききました。最近では、“早むき”ができる話題になった「和歌山むき」（十字に四等分するむき方）や、見た目もきれいな「イモムシみかん」（みかんの房が横一列に並ぶようにするむき方）などが注目を集めていますが、やはりスタンダードなむき方をする人が多いのか、「花びらのような形でむく」（81%）人が最多となり、**「和歌山むき」の実践者は9%**という結果になりました。[グラフ 5]



一方で、今のむき方とは違う「行ってみたいむき方」をきくと、1位の「花びらのような形でむく」（28%）に続いて、2位に「らせん状にむく」（24%）がランクイン。りんごの皮むきのように、途切れることなくきれいにむいてみたいという「みかん好き」の傾向もうかがえます。



花びらのような形でむく

皮をちぎるようにしてむく

4等分にしてむく

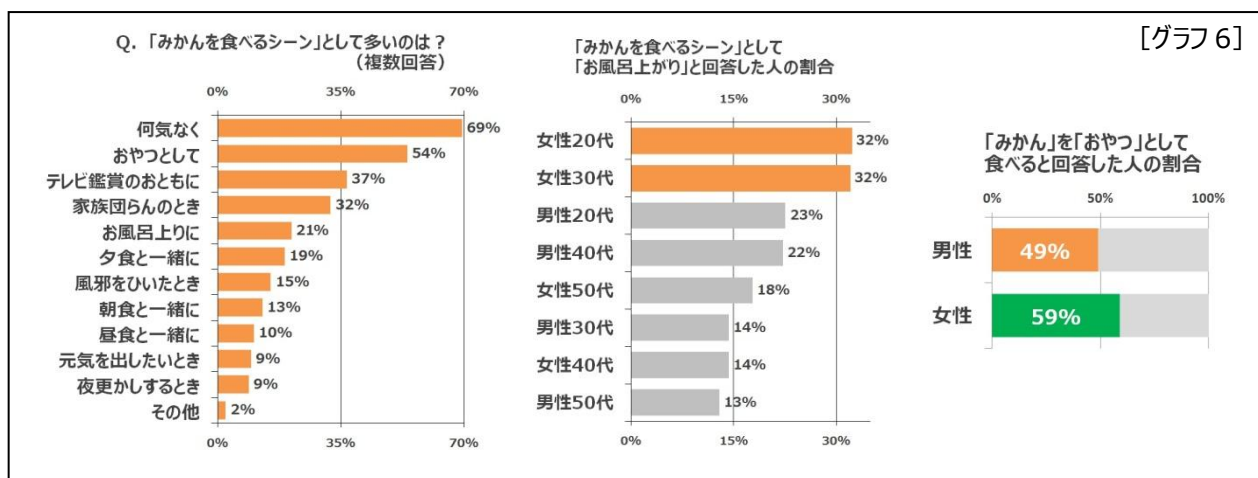
(和歌山むき)

らせん状にむく



## 「お風呂」「冷やし」…「みかんを食べるシーン」のこだわりも紹介

「みかんを食べるシーン」では、1位は「何気なく」（69%）、2位は「おやつとして」（54%）、3位「テレビ鑑賞のおともに」（37%）が続きました。20代・30代女性の3割以上が「みかん」を「お風呂上がり」に楽しんでいたりと、「おやつ」に「みかん」を食べる女性は男性よりも10ポイント多かったりと、**年代別や性別で食べるシーンに違い**が見られます。[グラフ6]



そのほか、「みかん好き」に「みかんを食べるときのこだわり」をきくと、「**冷やす」「焼く」「鍋に入れる**」などみかんの食べ方を変えて楽しむ人から、「お風呂で食べるのが美味しい。あったかいお風呂と冷たいみかんが合う」（31歳・女性）など、**食べるシチュエーションを変えて楽しむ**人まで、千差万別のこだわりぶりがきかれました。「みかん」の本場・愛媛県出身者の中には「房をはいで実を取り出したものをたくさん器にため、ラップをかけて一日冷蔵庫で寝かしたものを食べます」（37歳・女性）という、こだわりも。「みかん好き」たちが「みかん」を愛する理由も、「甘さが好きだから」（79%）、「香りが好きだから」（44%）、「健康に良さそうだから」（43%）など**味や香り、健康面での期待**などさまざま。みかんが愛される理由も、多岐にわたるようです。